

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2019年 3月25日

事業所名:ひまわり畑

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2室に分かれていることで、普段の生活(遊び・宿題など)とは別に、勉強・着替え・静養等に利用するスペースをしっかりと確保できています。		
	2 職員の適切な配置	必要な子には個別対応できるよう、十分な職員を配置しています。	・子どもの障害、特性への理解が高い。 ・専門性は個人差があると思う。	ミーティング時の研修、普段の資料の配布等で学ぶ機会を増やし、より一層専門知識を持った職員を育成していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一例として、服薬に関して自分で管理できるように、薬の置き場所を決めたり、タイマーの使用等を提案し、できるようになりました。		配慮の意味を理解し、その効果を最大限に生かせる知識を身につけられるよう、職員を研修していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	出来ています。		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	子どもが来るまでの時間を利用して、その日の出勤者全員で、目標設定と前回までの振り返りを行っています。		今後も全員が参画し、話しやすい職場環境作りに努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	東灘区事業所連絡会での勉強会を利用し、業務改善をはかっています。		今後も東灘区の事業所と連携し、業務改善をはかります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の指導員ミーティングの際に、資料を用意し、内部研修を行っています。		ミーティング時に限らず資料の配布等で学ぶ機会を増やします。また、外部研修の情報を提供し、学びを促していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に一回、十分な時間(1時間程度)をかけてアセスメントを行い、他の職員とも相談して計画を作成しています。		保護者との距離を縮める上でアセスメントに費やす時間は必要だと考えており、今後も続けていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別に考え抜いた結果のサービス計画を作成しています。	・よく考えてくれている。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	限られた期間で重点的に行いたい支援内容に絞って記載しています。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	サービス計画書を職員全員がすぐに確認できるようファイルし、それに沿って支援を実施しています。		その時期に最適な支援を行えるように、その子の成長をよく観察して柔軟に対応していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	お出かけ先や料理、工作の内容など、担当者を中心に相談して決めています。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は室内で出来るゲームで人とのやり取りを学んだり、休日・長期休暇は外出で乗り物のマナーを学んだり体を動かす楽しみを味わうなど、それぞれの良さを生かした支援を行っています。	・外出もいろいろなことを体験できている。 ・自由遊びが多い気がしてよくわからない。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの成長や興味に合わせてゲームや外出先を考えています。		自由遊びの意義が保護者に伝わっていないようなので、今後伝えていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	子どもが来るまでの時間を利用して、その日の出勤者全員で毎日、確認を行っています。		限られた時間なので、効率よくできるよう、工夫します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	子どもを送った後職員は直帰することが多いが、気付いたことを電話やメールで責任者に報告し、責任者はその情報を職員に知らせています。		気付いたことを報告しやすい雰囲気づくりに努めます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳や業務日報に記録しています。また、3か月ごとに中間評価を行うことで検証・改善をしています。		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとにモニタリングと、それをもとにしたサービス計画の見直しを行っています。		
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	出来ています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用していません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用していません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	今後の課題です。		保育所等訪問支援事業所「さぼーる」を利用している方については、情報共有をしていく予定です。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現状は出来ていません。		今後進めていきたいと考えています。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	出来ています。		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	本部のこどもカルチャーに参加している利用者は交流がありますが、一部のみに限られています。	・地域やいろんな人との交流はある。 ・割的に少ないと思う。	本部との合同企画を設定し、利用者同士の交流機会を提供します。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	f☆proへの参加。		
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約時に説明をしています。支援内容は保護者の意向、本人のニーズ等を聞いたうえで相談させていただいています。	
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		モニタリング時に相談した上で支援内容を決定しています。		
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		保護者会で講師を呼び、保護者支援を行っています。指導員はトレーニングを行うほどの専門知識はなく、助言をするにとどめています。	・保護者会の時の勉強会は大変参考になっている。 ・もっとして欲しい!!!	今後も保護者に対する勉強会を続けるとともに、指導員が的確な助言をできるよう、研修していきます。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		連絡帳、電話、モニタリング等でできています。		
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		連絡帳、電話、モニタリング等でできています。	・面談はしっかり行われている。 ・そんな風に感じない。	評価の低い保護者がいることを肝に銘じ、保護者への対応をしていきます。
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		年3~4回の保護者会を実施し、勉強会の昼食を食べながらの交流をしています。	・保護者会、しっかり開催されている。	
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		マニュアルを作成し、それに沿って対応しています。	・その日にあった事をすべて伝えあっている訳ではない為。	保護者から直接苦情としてあがるのはほんの一部であることをしっかりと受け止めて対応します。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		口頭ではなく、連絡帳に記入、あるいはメールを送ることで、誤伝達を防ぐよう配慮しています。		
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		毎月ひまわりだよりを配布しています。	・毎月予定表が配られていてわかりやすい。 ・詳しく聞いていない時もあつたりするから。	
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		出来ています。		
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者への周知徹底が不十分かもしれない。	・説明を聞いたことがない。 ・リスト等は見た。	保護者会で説明するなど、周知されるように努力していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	イベントと絡めて避難訓練を行っています。		「わからない」と答えた保護者が多かったので、お便り等での周知に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回、全職員を対象に虐待防止研修を行っています。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていません。身体拘束する条件を確認し、それに当てはまる利用者がいない事を確認しています。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から医師の指示書が提出されていませんが、保護者からアレルギー源をできる限り詳しく聞き取り、摂取しないよう注意を払っています。		定期的に職員と確認します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	出来ています。		